

エコアクション 21

# 環境活動レポート

(2007年4月1日～2008年3月31日)

2008年6月



有限会社 アースウィング

# 環境方針

## <基本理念>

有限会社アースウイングは、より快適な地域環境を常に創造しつつ、地域に暮らす人々の身近な生活環境を守り次世代へ継承することを企業の使命とし、積極的な創意工夫と行動力をもって循環型社会構築へ貢献する企業活動を推進する。

## <行動指針>

有限会社アースウイングは、自ら行なう全ての事業活動を通して、地域環境の保全と向上を目指し継承していく重要性を認識し、全社員で下記の指針を履行します。

1. 事業活動に係わる環境関連法規、条例等を誠実に遵守し、適正業務の推進とともに地域環境の保全と向上に取り組みます。
2. 環境改善目標並びに自主基準を定め、定期的な見直しを行い継続的改善に努め管理向上に取り組みます。
3. 具体的な取組として、次に掲げる項目に取り組みます。

地球温暖化防止のため省エネルギーに努めます。

循環型社会に向け、廃棄物の4R『リデュース(削減)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化)・リフューズ(拒否)』活動に取り組みます。

事務用品等の調達・購買では、グリーン購入及び再生利用に取り組みます。

全員で5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に取組み、快適で働きやすい職場づくりに取り組みます。

4. この環境方針に則り、全社員一人ひとりが、日々考え行動します。

平成18年 10月 1日

有限会社 アースウイング  
代表取締役 岡崎 元紀

# 事業の概要



## 会社概要

- |        |  |
|--------|--|
| ■ 社名   | 有限会社 アースウイング   |
| ■ 創業   | 昭和47年3月25日（沼隈衛生有限会社）<br>平成3年4月6日（社名変更 有限会社アースウイングとなる）  |
| ■ 資本金  | 340万円  |
| ■ 売上高  | 2億4千万円（平成19年度決算）   |
| ■ 従業員数 | 27名（平成20年4月1日現在）   |
| ■ 事業内容 | 一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業<br>資源リサイクル業 浄化槽保守点検及び清掃業<br>高圧洗浄工事業 仮設トイレリース業 リフォーム全般<br>建設業（土木工事、とび・土工工事、管工事、しゅんせつ工事、水道<br>施設工事） 福山市指定給水装置工事業業者<br>福山市下水道排水設備指定工事店<br>ディスポーザー排水処理システム維持管理業者<br>衛生関連商品の販売（水回り用品から住宅設備機器） |
| ■ 本社   | 〒720-0311 広島県福山市沼隈町大字草深 2785 番地 132<br>TEL (084) 987-0084 FAX (084) 987-3318   |
| ■ 役員   | 代表取締役 岡崎 元紀<br>取締役 村上 春朝   |
| ■ 取引銀行 | 広島銀行千年支店、中国銀行千年支店、備後信用組合千年支店<br>もみじ銀行、福山市農業協同組合、広島県信用漁業協同組合連合会   |
| ■ 沿革   | 昭和47年 沼隈衛生有限会社を設立<br>昭和58年 代表取締役に岡崎元紀が就任<br>平成3年 社名変更により有限会社アースウイングとなる<br>平成15年 本社移転<br>平成16年 福山市内海町に支店を設置<br>平成18年 内海支店閉鎖   |

■ 環境保全関係の責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者 副社長 岡崎 晶子  
 環境事務局担当 総務部部长 川本 浩  
 電話：(084) 987 - 0084 FAX：(084) 987 - 3318

■ 事業規模

1) 許認可業務

浄化槽保守点検業者	福山市	福00第004号
浄化槽保守点検業者	広島県	県60第0923号
浄化槽清掃業許可	福山市	第1013号
一般廃棄物(液状)収集運搬業許可	福山市	第217号
一般建設業許可	広島県	県知事許可(般-16)第2729号 土木工事業 管工事業 水道施設工事業 とび・土工工事業 しゅんせつ工事業
福山市指定給水装置工事事業者	福山市	水道局指定工事店
福山市下水道排水設備指定工事店	福山市	福山市指令庶第20号第260
ディスポーザ排水処理システム維持管理業者		第04011058
廃棄物再生事業者	広島県	広島県号第09006号
固形状一般廃棄物収集運搬業務	福山市	委託契約

産業廃棄物収集運搬に関して

管轄	許可番号	事業範囲	許可年月日	許可期限
広島県	第3407052170号	<事業の区分> <b>収集運搬(積替え・保管は含まない)</b> <産業廃棄物の種類> <b>燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、陶磁器くず、鉋さい及びがれき類(これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード及び廃容器包装を含み、自動車等破砕物、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)</b>	平成20年 1月27日	平成25年 1月26日
福山市	第9110052170号	<事業の区分> <b>収集運搬(積替え・保管を含む。)</b> <産業廃棄物の種類> <b>[積替え・保管を含む]</b> <b>廃油、廃プラスチック類(廃プリント配線板及び廃容器包装を含み、自動車等破砕物を除く)</b> <b>金属くず(廃プリント配線板、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板及び廃容器包装を含み、自動車等破砕物を除く)</b> <b>[積替え・保管を含まない]</b> <b>燃え殻(判定基準に適合しないものを除く)、汚泥(判定基準に適合しないものを除く)、廃酸、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、陶磁器くず(廃ブラウン管、廃石膏ボード及び廃容器包装を含み自動車等破砕物を除く。)、鉋さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。)</b>	平成20年 1月27日	平成25年 1月26日

2) 設備概要

一般廃棄物 車両		産業廃棄物 車両		浄化槽保守点検 車両	
糞尿車	7台	塵芥車	1台	軽四自動車	6台
給水車	1台	ダンプ車	3台	その他 車両	
委託業務 車両		吸引車(ダンパー)	1台	社用車(軽四)	1台
塵芥車	2台	ヒアブ付ダンプ車	1台	高圧洗浄車	1台
ダンプ車	2台			キャブオーバ	1台

産業廃棄物の積替え保管施設

産業廃棄物の種類	所在地	面積	保管上限
廃油	広島県福山市沼隈町大字草深2785番地132	12.3 m <sup>2</sup>	1.8 m <sup>3</sup>
廃プラスチック類	同上	13.6 m <sup>2</sup>	25.8 m <sup>3</sup>
金属くず	同上	11.9 m <sup>2</sup>	22.6 m <sup>3</sup>

3) 推移状況

活動規模	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	万円	21,769	20,394	23,169	24,040
従業員数	人	22	26	29	27
床面積	m <sup>2</sup>	619.94	619.94	619.94	619.94
収集運搬(浄化槽汚泥)	m <sup>3</sup>	6,101	6,605	6,760	7,245
収集運搬(一般廃棄物)	t	2,050	1,688	1,894	1,827
収集運搬(産業廃棄物)	t	7.82	154.78	222.44	540.55

4) 産業廃棄物収集運搬料金

収集運搬料金としては、産業廃棄物処理料金 + 収集運搬手数料となっています。

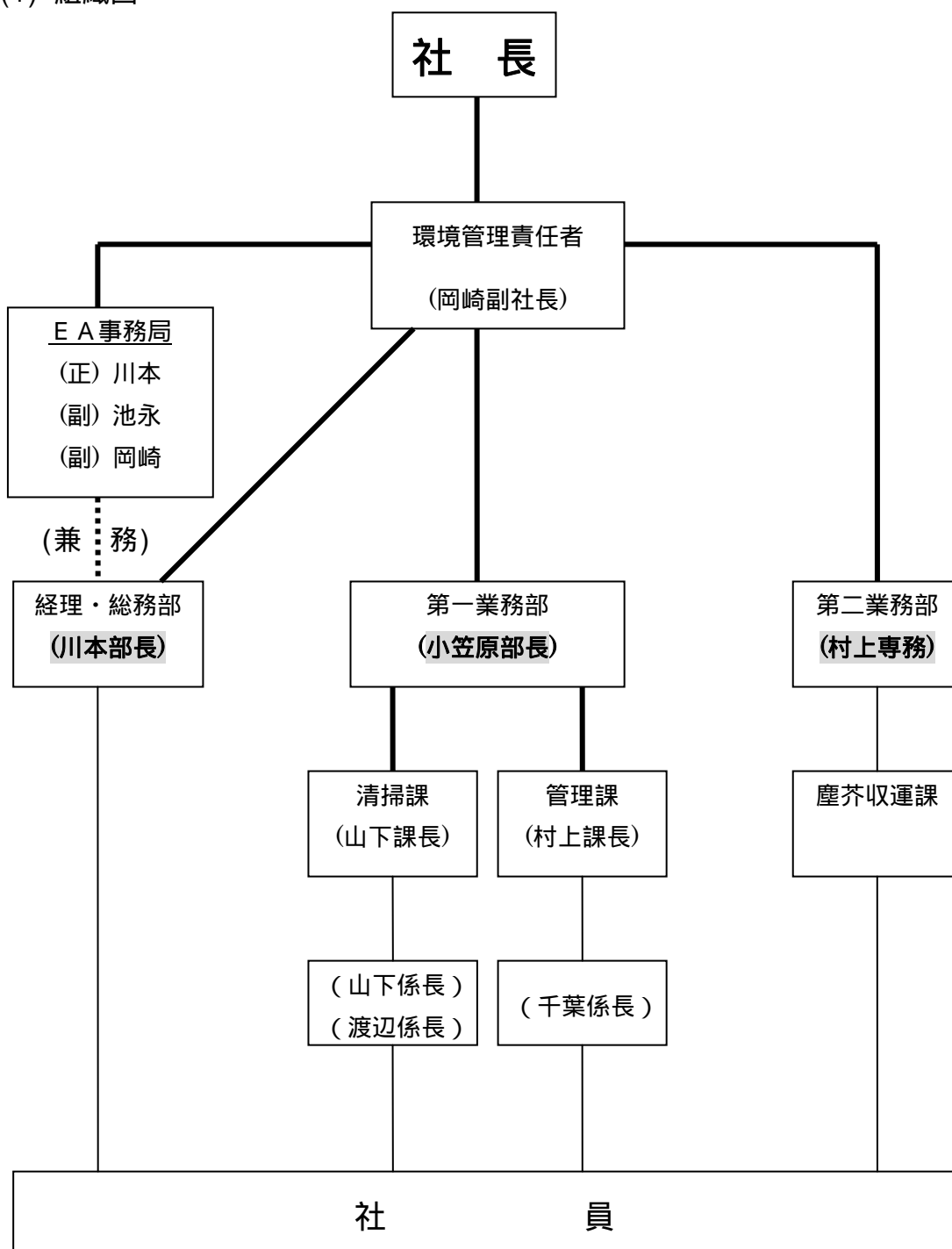
なお、収集量・収集頻度・収集運搬距離等により収集運搬手数料を計算させていただきます。(無料にて御見積いたします。) 連絡先 (084) 987-0084

処理料金(変動性)事例(平成20年4月1日時点)

廃プラスチック類	50円/kg~	+ 収集運搬手数料
木くず	15円/kg~	
コンクリートがら	18円/kg~	
瓦、レンガがら	40円/kg~	
アスファルトがら	18円/kg~	
石膏ボードがら	21円/kg~	
廃油	63円/kg~	

# 実施体制

(1) 組織図



強調文字は各部門長

## (2) 環境目標とその実績

当社では、「エコアクション 21 2004 年版 環境経営システム・環境活動レポートガイドライン」を元に、2006年10月から活動を開始しました。

### 環境数値目標

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	単位	基準数値	2007 年度	2008 年度	2009 年度
省エネルギー	電力の省エネ	kwh	30,478	27,735 ( 9%)	26,821 ( 12%)	26,821 ( 12%)
	化石燃料削減(軽油)	ℓ	41,420	39,349 ( 5%)	38,520 ( 7%)	38,106 ( 8%)
	化石燃料削減(ガソリン)	ℓ	6,650	6,318 ( 5%)	6,184 ( 7%)	6,118 ( 8%)
	CO2 排出量	Kg-CO2	135,659.9	128,417 ( 5.3%)	125,585 ( 7.5%)	124,345 ( 8.3%)
省資源	節水	m3	1,401	1,289 ( 8%)	1,261 ( 10%)	1,261 ( 10%)
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	kg	2,500	2,425 ( 3%)	2,375 ( 5%)	2,350 ( 6%)

### 活動実績 (2007年4月1日～2008年3月31日)

環境目標	単位	目標値	実績値	目標との差異	評価	
電力使用量	kWh	27,735	29,344	+1,609	×	
化石燃料使用量	軽油	ℓ	39,349	39,884.0	+535	×
	ガソリン	ℓ	6,318	6,135.3	-182.7	
CO2 排出量(合計)	Kg-CO2	128,417	130,005	+1,588	×	
廃棄物搬出量	kg	2,425	2,382.7	-42.3		
水使用量	m <sup>3</sup>	1,289	1,320	+31	×	

(3) 主要な活動計画の内容

環境活動実施計画書		実施期間
		2007年4月1日～2008年3月31日
<b>1) 省エネルギー(電力・化石燃料使用量)</b>		
	<b>電力使用量の削減</b>	担当 部署
	ア) 温度計で事務所内の温度管理(基準 25 )を実施し、エアコンの温度管理を行う	全 社
	イ) 窓の開閉を行い、自然風を利用して、温度調節を行う	
	ウ) エアコンの定期的なメンテナンスの実施(フィルター清掃年・・2回)	経理総務部
	エ) 不要時の電源 OFF(照明・PC・換気扇・無線機・外部マイクなど)	全 社
	オ) 朝、昼休憩、夕方の照明の節電を実施する	
	カ) 節電モードの設定(PC・プリンター・複合機など)	経理総務部
	キ) シュレッダー処理は機密文書・個人情報に関わるものに限る	全 社
	<b>化石燃料(軽油/ガソリン)使用量の削減</b>	担当 部署
	ア) エコドライブの推進	業務部
	・急発進、急加速、急停車など急のつく運転を行わない	
	・アイドリングストップ(不要時)の実施	
	・早めのギアチェンジを行う	
	・法定速度を遵守した運転を行う	
	・適正な積載量での運搬業務を行う(過積載の禁止)	
	・エンジン回転数 2000 回転以下の走行を実施する	
	イ) 車輛管理体制の充実	担当 部署
	・定期的な車輛点検の実施(日常点検の徹底)	業務部
	・定期的な車輛整備(オイル/エレメント/バッテリーなど)の実施	
	・計画的な車輛整備(車検/タイヤ交換など)の実施	
	ウ) 運行管理の実施	担当 部署
	・作業効率を考えた計画作業の実施(し尿収集/浄化槽保守点検・清掃)	第1業務部
	・作業に見合った車輛の配車(仕事量の把握)	業務部
	・収集運搬コースは最短かつ最良のコースを選択することを心がける	
	エ) 金融機関の活用の拡大	担当 部署
	・口座振替顧客の拡大(集金業務の軽減化)	第1業務部
	・郵便振込用紙の活用(集金業務の軽減化)	経理総務部
<b>2) 廃棄物の排出抑制及び資源化の徹底</b>		
	廃棄物の抑制を心がける	全 社
	決められた排出場所に、分別を徹底して排出を行う	
	コピー用紙の裏紙並びに使用済み封筒を再利用する	
	シュレッダー処理する紙は機密文書や個人情報に関わるものに限り処理を行う	
	シュレッダー処理以外の紙類はオフィス古紙として、リサイクルにまわす	
	廃材を有効活用する(仮設トイレの敷板等)	
	冷水機を使うときは、プラスチックコップを活用する(紙コップの削減)	第1業務部
	グリーン購入を積極的に取組む	全 社
	・仮設トイレ用トイレトーパーはエコ商品を優先して購入する	
	・事務用消耗品発注時は、エコ商品を優先して購入する	経理総務部
	・名刺、リーフレット、各種資料を作成する際は、再生紙の使用としていく	
<b>3) 水使用量の抑制</b>		
	業務用(浄化槽張り水/洗浄車給水)は、雨水を有効利用する	第1業務部
	車輛の洗車は、濡れ拭きを行い、使用量はバケツ2杯程度とする	
	バケツ1杯運動の実施(車両洗車時/ゴム手・長靴を洗うとき)	第2業務部
	水道の締め忘れやトイレの流しっぱなし等の見回り確認を実施	経理総務部



(4) 環境活動の取組評価

取組期間 2007年4月1日 ~ 2008年3月31日

環境管理責任者による評価

取組項目	取組評価
電力使用量	電力使用としては、事務所内と場内と大きく分けて管理しているが、場内では缶選別機の稼働状況にも左右され一定の使用量が保たれず、目標をクリアできていない要因の一つになっている状況です。 全体的な取組の継続はあるが、年度当初及び年度後半に関して、社員の意識の低下が数字的にも現れた状態となっています。今後も細かな取り組みの継続が必要です。
化石燃料使用量	ガソリンの使用量については目標達成が出来、良い取組となっています。 軽油の使用量については、若干目標達成に手が届いていない結果となりました。自社の大半が軽油車両であり仕事量に比例して増加となっている。更なる取組の強化と、目標設定を見直していく必要があります。
CO2排出量	年度の中盤までは、目標達成をしていましたが、後半、化石燃料（軽油）及び電力使用量が目標達成できていない為、増加しています。年間を通じて削減することは出来ませんでした。特に軽油の使用量に左右されやすい状況ですので今後の管理体制の強化も必要です。
一般廃棄物排出量	年間を通じて目標達成が出来ました。 分別の徹底がまだ出来ていない部分も少しありますので、今後の課題となっています。
水道使用量	年間を通してあと少し達成できていませんでした。業務で使用する量が多いので、業務量で左右されやすいのですが、社内での取組としては、節水を意識した行動が全社的に出来ていました。
グリーン購入の推進	年間を通じて、良い取組が出来ていました。
全体での意見	全体的な取組としては、全社的な取組が出来てきています。 ただし、取組を始めて2年目となり、社員の意識低下がところどころで見受けられます。 各部署並びに全体での周知徹底や勉強会等の頻度を上げていく必要があります。

代表者による評価

ア) 方針、目標、活動計画の達成状況

- ・電力使用量については、仕事の仕方を徹底して見直す必要がある。
- ・化石燃料使用量については、設定方法を変更する必要がある。

イ) 環境経営システムの実施状況

- ・全社的に、意識が薄れがちな部分が見られるので、部門長を中心に周知の強化が必要である。
- ・E A 2 1に関する教育（研修）の頻度を増やす必要がある。

ウ) 法律等の遵守状況

- ・適正な作業を実施し、法令等の違反もなく適正業務がなされている。

2008年度の新たな目標設定（指標）として仕事量に応じた設定を行いました。

	設定方式	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度目標
清掃課	汚泥搬出量 ÷使用燃料	0.54 m <sup>3</sup> /ℓ	0.50 m <sup>3</sup> /ℓ	0.55 m <sup>3</sup> /ℓ
管理課	保守点検基数 ÷使用燃料	1.94 基/ℓ	2.09 基/ℓ	2.10 基/ℓ
塵芥集運課		平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度目標
(一般廃棄物)	廃棄物搬出量 ÷使用燃料	180.12 kg/ℓ	184.90 kg/ℓ	185.00 kg/ℓ
(産業廃棄物)		63.42 kg/ℓ	64.75 kg/ℓ	65.00 kg/ℓ

(5) 環境奉仕活動

当社では毎月第2第4の木曜日に事務所周辺の道路を、午前8時より清掃活動を行っています。(自由参加) 《下記写真は2008年2月28日実施の光景です》



1回の回収ゴミ

内海大橋方面

セブソイルブッ

- ・ ZAGZAG 薬局
- ・ パレット
- ・ ハーブ 沼隈店
- ・ ジュテント 沼隈店
- ・ コヒー 沼隈店
- ・ コメリ 沼隈店



清掃活動状況



清掃活動状況

ジグタ電機



清掃活動状況

・ お好み焼 コロ

うず潮

・ 常石造船社宅

中野店

・ 小林治療院  
千年橋

鞆鉄バス車庫

・ 公衆トイレ  
・ 三谷建材



出発前の打合せ

弊社(有)アースイング

・ 三谷産業  
・ 三谷運輸



清掃活動状況

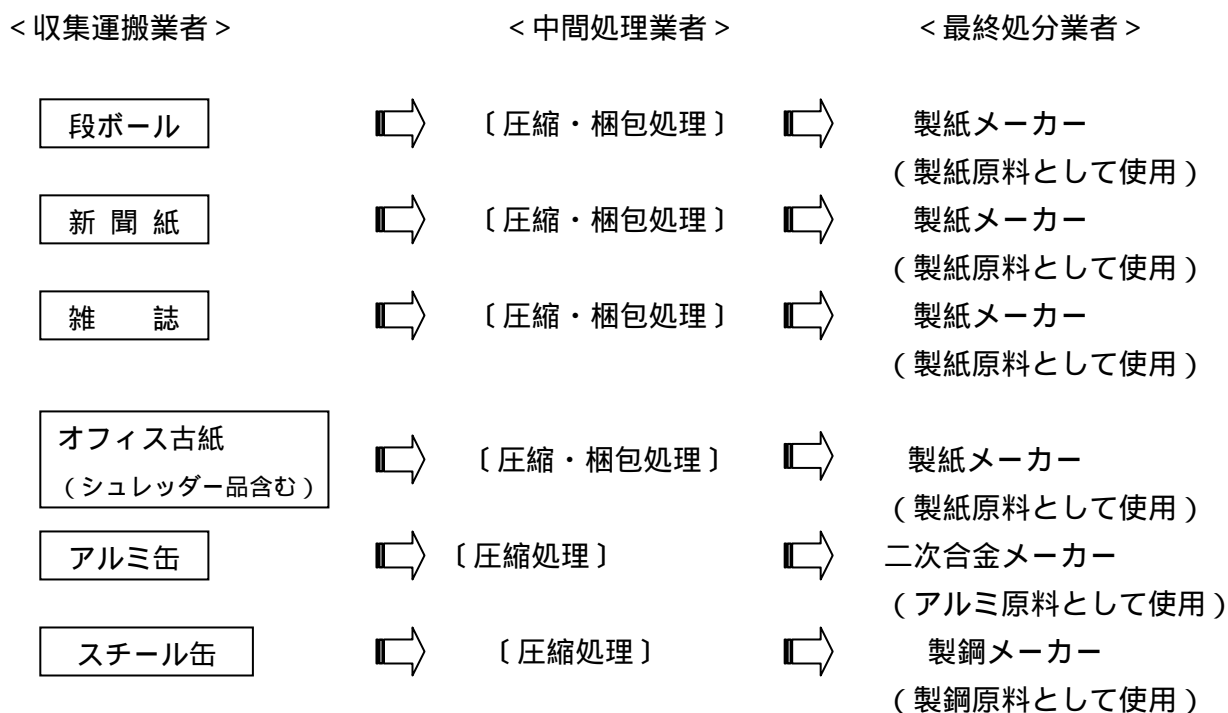
..... は清掃コースです

能登原・鞆方面

## (6) 一般廃棄物（資源ごみ）の処理の流れ

当社から排出される廃棄物の内、段ボール・新聞紙・雑誌・オフィス古紙・アルミ缶・スチール缶に関しては、下記の流れで処理されリサイクル原料に加工されています。

### リサイクルの流れ（フロー）



廃棄物排出場所 ・ ・ 当社から排出される廃棄物は決められた場所に分別を行って排出しています。  
(排出場所光景写真)





### (7) 環境コミュニケーション

社内では社員食堂の壁に掲示板(環境活動掲示板)を設置し、活動の経過報告や情報提供を行っています。



### (8) 関連法規への違反、訴訟などの有無

当社では、環境関連法規への違反はありません。なお、環境関連法規に関して過去5年間において関係機関からの指導や指摘などはありませんでした。

また、関連して訴訟等は同様に一切ありませんでした。